

2011年3月11日、
あなたはどこにいましたか？

講演会 原発避難は
終わらない
—私たちは今

2月17日 日 14:00～
16:00

【会場】 山口県社会福祉会館 大ホール
山口市大手町9-6

【定員】 150名

資料代 500円



講演

「なぜ、避難者たちは沈黙するのか？—避難者罪悪感と避難者バッシング」
高橋 征仁 山口大学人文学部教授

「福島原発被害者の声を聞く～国連人権理事会でのスピーチが意味するもの～」
森松 明希子さん 郡山市から大阪市へ避難 東日本大震災避難者の会サンドリ代表

主催 山口県避難移住者の会 <http://hinan-yamaguchi.hatenablog.jp>

お問い合わせ／浅野 TEL (090) 2942-1364
メール nadia@ah.wakwak.com

講師プロフィール

・高橋征仁氏

山形県河北町生まれ。山口大学教授（社会心理学）、専門は社会心理学、教育社会学。関西学院大学災害復興制度研究所学外研究員。311直後から原発避難者の状況を研究。

著書に「緊急避難行動における心の脆弱性」『社会分析』2016年（単著）
「低線量被ばく問題をめぐる母親たちのリスク認知とリスク低減戦略」
『災害復興学研究』2015年（単著）、『原発避難白書』2015年（共著）
人文書院、など。



・森松 明希子氏

福島県郡山市在住中に東日本大震災に被災。3歳と0歳の2児を連れ2011年5月大阪市へ母子避難。東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream（略称サンドリ）代表、原発賠償関西訴訟原告団代表、原発被害者訴訟原告団全国連絡会共同代表。2018年3月19日スイス・ジュネーブの国連人権理事会本会議にてスピーチ。



会場アクセス

ゆ〜あいプラザ 山口県社会福祉会館 4階大ホール
〒753-8555 山口市大手町9-6
TEL.083-924-1025

駐車場に限りがあるため、できるだけ公共交通機関をご利用されるか、お車に乗り合わせてご来場ください。

私たちは今—山口県避難移住者の会

2011年3月11日に発災した東日本大震災、その後の東京電力福島第一原子力発電所の過酷事故から8年の月日が経とうとしていますが、皆さん、ご存知ですか。今も原子力緊急事態宣言は発令中で原発事故は終わっていません。福島県だけではなく、広く東日本各地から遠く離れた山口県に避難してきた私たちは、今も避難元に戻れないでいます。昨年、避難してきた方もいらっしゃいます。原発避難もまだ終わっていないのです。

私たちは、「ここにも避難者はいます。私たちは一人ではありません。つながりましょう」と呼びかけてきました。お近くに避難してきた方がいらっしゃったら、山口県にも避難当事者のグループがあることをお伝えください。これからも私たちの声に耳を傾けてください。

ブログ：<http://hinan-yamaguchi.hatenablog.jp/>

後援 朝日新聞山口総局 毎日新聞山口支局 読売新聞西部本社 山口新聞社
中国新聞防長本社

協賛 おいでませ山口♪定住支援ネットワーク 福島〜山口いのちの会 いのち・未来 うべ
関門保養プロジェクト・下関 Humming Bird（ハミングバード）



★この事業は赤い羽根共同募金の助成金を活用しています。